

見つけた。七番目の光。

「4.24」を知っていますか？

1948年「4.24阪神教育闘争」から70年

変わることのない差別、

70年間の「軌跡」をたまたかひ続けてきた、

「ウリハッキョ」という「奇跡」が、

いま「輝石」となって、未来へ架かる虹となる。



朝鮮学校の今を知る。

「71年前とどう変わったのか」

自主上映会

4.24教育闘争70周年記念
ドキュメンタリー映画

ニジノキセキ

—「4.24」の未来へ、七色の架け橋—

史上初となる南北の国際映画祭で受賞

第17回平壤国際映画祝典
国際審査委員会特別賞受賞

第11回DMZ国際ドキュメンタリー映画祭
ADF文化賞(長編部門)受賞

南大阪カウルマダン2021

ウリハッキョー 未来へ、世界へ架け渡す、七色の「キセキ」。



「4.24」とは何だったのか？「4.24」の精神とは何なのか？—その答えを見つけるために、兵庫県青商會が企画・制作したドキュメンタリー映画「ニジノキセキ」。70年の時を超え、「ウリハッキョ」のおかれた現状を伝えるとともに、何より、七色に輝く「ウリハッキョ」の「いま」を、未来へ、世界へ向けて届けます。

3つの「キセキ」—

過去から未来へ、「4.24」を受け継ぐ虹の架け橋。

[軌跡] 歩んできた道のり。車輪が通った跡にできる轍(わだち)。先人の行いの跡。
世代を超えて受け継ぎ発展させ続けた、民族教育の歴史。70年の道のり。

[奇跡] 常識で考えては起こりえない出来事。驚くべき不思議な現象。ミラクル。
異国の風雨に打ち勝ち、成果と経験を生み続ける民族教育という奇跡。誇り。

[輝石] 鉱物の一種。様々な色、ガラス光沢を放つ、美しい鉱石。
キラキラと輝くウリハッキョの生徒たち。ダイヤモンドの原石のような、未来たち。

■「ウリハッキョ(朝鮮学校)」、「4.24阪神教育闘争」とは？

1945年8月、日本の敗戦とともに植民地支配からの解放を迎えた在日朝鮮人たちが、奪われた言葉と歴史、文化を子どもたちに教えるため、各地で開校した「国語(朝鮮語)講習所」をルーツとし、現在では幼稚園から大学までの教育体系を備え、日本全国に65校設置されている朝鮮学校。親しみを込めて「ウリハッキョ(私たちの学校)」と呼ばれる一方で、常に日本社会の差別と弾圧、そしてたたかひの歴史を歩んできた。1948年、GHQと日本政府は朝鮮人学校閉鎖令とともに警官隊による閉鎖を全国で強行。特に2名の死者まで出した阪神地域での激しい学校閉鎖反対・権利擁護闘争において、神戸市では閉鎖令を撤回する勝利を取める。その日が4月24日であったことから、在日朝鮮人はこの「4.24(サイサ) 阪神教育闘争」を、民族教育を守る歴史と精神の象徴として継承し続けている。

七番目の光—あなたの「キセキ」が、虹の橋を架ける。



会場：南大阪朝鮮初級学校（3階講堂）座席はすべて自由席

チケット：大人1,000円／高校生以下500円（100名限定）

主催：南大阪カウルマダン2021実行委員会

TEL06-6685-6505（ホウ） E-mail nancho201044@yahoo.co.jp